支えあいのまちづくり協議体（京橋地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う**「支えあいのまちづくり協議体（第２層協議体）」**の令和５年度第１回目を、京橋地域で開催しました。

１　実施日
令和５年４月25日（火）10:00～11:30

２　出席者
日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター　10名

３　内容
・出席者近況報告
・意見交換　①高齢者が集まる社会資源把握のためのアンケートについて
　　②広報紙「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～」第５号について

４　出席者近況報告
新メンバーの紹介をはじめ、出席者の近況報告を行った。

５　意見交換　①高齢者が集まる社会資源把握のためのアンケートについて
コーディネーターより、前回までの意見を踏まえ、通いの場「築地集いの場」でアンケートを実施したことを報告。アンケート結果を踏まえ、以下の意見があがった。

- ✓ 買い物のニーズが高いことが伺えた。買い物は出かける動機としても多いので、「普段出かけるところ」の項目を増やしてみてもいいのではないか。
- ✓ 買い物のニーズが高い反面、困っている方も多いのではないか。
  →困りごととして考えられるのは、コンビニでのコーヒーの買い方や、セルフレジのやり方、レストランでのタブレットの注文の仕方などの意見があがった。また、衣料品店が少ないため、そういった情報発信が喜ばれるのではないかとの意見も出た。野菜の移動販売が安否確認の機会にもなっているとの指摘もあった。
- ✓ ここに来るようになったきっかけの項目に、家族や掲示板を入れてみてはどうか？
- ✓ 普段出かけるところの項目に、カフェやスポーツジムも入れてみてはどうか？
- ✓ 普段出かけるところの項目に、デイサービスを入れてみてはどうか？
  →デイサービスに通っている方は個別性が強い。足が痛い、認知症などの理由により出かけることに制限のある方が多いので、今回のアンケートの対象には不向きなのでは？
- ✓ 声がかかれば出かけたいという方もおり、「頼りになる人」は大事だと感じる。

➡ メンバーの意見を踏まえて修正したアンケートで次回は実施することとなった。

意見交換　②広報誌「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～」第５号について

コーディネーターより、シルバー川柳を取材した第５号案、配布先リストを提示。以下の意見があがった。

- ✓ 情報量が多いため記載方法に工夫が必要ではないか。
- ✓ 参加費や対象年齢を詳細に記載した方がよいのではないか。
- ✓ 配布先として児童館が少ないが、全域に配布してもよいのではないか。

➡ 配布先の拡大について意見があったが、しばらく様子をみることとなった。

６　今後のスケジュール

次回は令和５年６月下旬～７月上旬に開催予定。アンケート回答者と直接やり取りができることから、他の通いの場でもアンケートを実施し、その調査結果について意見交換を行う予定。

＜参考＞　意見交換の様子